

## おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会

### 令和6年度事業報告（令和7年2月末時点）

小笠原世界遺産センター動物対処室の管理運営及び施設を活用した事業実施を通じて、「人とペットと野生動物が共存する島づくり」を実現し、ひいては世界自然遺産に登録された稀有な生態系とそこに生息する野生動物を保全することを目的とし、関係機関・団体との協力のもと、(Ⅰ)外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護、(Ⅱ)ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策、(Ⅲ)ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進、その他目的を達成するために必要な事業を実施する。

なお、(Ⅰ)、(Ⅱ)については、下部に設置した各部会にて協議会事業の具体的な事項の調整・検討を行っており、(Ⅲ)については、ペット条例の運用を通じて進めている内容もあるため、協議会予算化関連事業以外は、参考情報とする。

#### (Ⅰ) 幹事会・総会

##### ○第1回幹事会（5月20日）

- ・R5 事業報告・決算報告と R6 事業計画・予算について

その他、動物協議会及び対処室の事業スキームのあり方、野生動物用の施設整備について議論を行った。

##### ○第1回総会（5月31日）

- ・R5 事業報告・決算報告と R6 事業計画・予算について

##### ○第2回幹事会（10月29日） 環境省主導

- ・動物対処室の機能拡充、コウモリリハビリケージの管理、傷病個体（ノスリ）について

##### ○第2回総会（12月13日） 書面開催

- ・職員の昇給、構成機関、委員の変更について

小笠原村が協議会運営費負担金を交付するにあたり、東京都の補助事業を活用することとしたため、令和6年12月をもって東京都小笠原支庁は協議会（下部のネコ連、希少連含む）から脱退し、オブザーバーとして参加することとなった。

参考：東京都獣医師会への協力依頼

##### ○小笠原における人とペットと野生動物の共存に向けた取組（5月31日）

- ・ノネコの受け入れ、対処室での治療への助言・協力依頼ほか

【環境省・林野庁・東京都・小笠原村・IBO】

#### (Ⅱ) 外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護に関すること

##### (1) 小笠原希少鳥獣等に関する連絡調整部会の開催状況【環境省】

##### ○第1回（4月22日）

- ・部会設置の経緯と目的について
- ・傷病発生時の連絡体制について

## ○情報共有・関係者打合せ等

- ・希少鳥獣の傷病個体発生状況について（8/6）【環境省・東京都・小笠原村・IBO】
  - オガサワラノスリ及び小笠原オオコウモリの傷病個体の扱いについて意見交換を行った。
  - コウモリのリハビリケージの修繕および管理、動物対処室の機能拡張について意見交換を行った。
- ・鳥インフルエンザ対応について（10/24 メール周知及び島内掲示）
- ・コウモリねぐらの対応について（12/26）【環境省・東京都・小笠原村・IBO】
  - 交通事故防止のため、周知看板を環境省で作成・設置（右写真）し、年末年始はIBOと環境省で日中巡回することとした。



設置した看板

## （2）傷病鳥獣の治療【動物対処室】

- ・令和6年度に保護された野生動物153個体<sup>参考1</sup>及び食害防止のために保護したコウモリ1頭、瀕死で保護したハト1羽の計155個体のうち、鳥獣保護管理員等から傷病個体の連絡や相談を受け、診療が必要と判断した24個体について、診察・治療を実施。また、過年度に保護され飼育されている1個体のMRSA検査のほか、オガサワラカワラヒワ域外飼育事業に関連する13個体の検査・病理解剖（今年度より仕様書に明記）及び、生態情報の蓄積や傷病原因の判定のため、死亡した8個体（過年度含む）の病理解剖・検体送付を実施。詳細は、下表のとおり。過年度実績は20～26頁を参照。

表：主な野生動物の対応実績（令和6年度）

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2024	4	1	オナガ ミズナギドリ	奥村漁協岸壁 迷い込み 右翼外傷	洗浄・消毒、縫合	2024.4/1	1	2024.4/3 野生復帰
2024	2	3	アカガシラ カラスバト	死亡個体 北袋沢の道路 で回収	病理解剖	2024.4/4	1	死因：交通事故に よる腹部の 重度の筋挫傷
2024	3	17	アカガシラ カラスバト	死亡個体 扇浦分譲地入口 で回収	病理解剖	2024.4/4	1	死因：交通事故に よる骨折多発、 血管の損傷
2024	4	4	アカガシラ カラスバト	死亡個体 大神山公園で回収	病理解剖	2024.4/5	1	死因：捕食 (二次的な食害も あり)
2024	4	8	オガサワラ オオコウモリ	西町大村川擁壁 半分溺水→擦過傷	注射、皮下点滴、消毒、 外用薬塗布、MRSA 検査	2024.4/9~10/2	13	2024.10/4 野生復帰
2024	4	12	シロハラ ミズナギドリ	死亡個体 回収場所不明	病理解剖	2024.4/18	1	死因：何らかの 衝突、左鎖骨折
2024	4	14	オオ ミズナギドリ	父島列島沖合 落下 衰弱	初診のみ	2024.4/15	1	2024.4/16 死亡
2024	4	15	シロハラ ミズナギドリ	奥村漁港の路上 うずくまり 骨折	レントゲン検査、安楽殺	2024.4/16	2	2024.4/16 安楽殺
2024	4	24	アオサギ	北袋沢の農園 うずくまり 骨折	レントゲン検査、安楽殺	2024.4/24,25		2024.4/25 安楽殺
2024	5	1	オナガ ミズナギドリ	死亡個体 奥村 G 周辺で回収	病理解剖	2024.5/2	1	死因：電線等への 衝突 挫傷・出血
2024	5	27	アカガシラ カラスバト	清瀬分譲地 バードストライク	レントゲン検査	2024.5/29	1	2024.6/3 野生復帰
2024	6	2	アカガシラ カラスバト	北袋沢の農園 ネット絡まり 頸部背側に広範囲 重度の皮膚損傷・ 筋損傷	消毒、外用薬塗布、注射、 皮下点滴、ICU 入院、 強制給餌、リハビリ、 病理解剖	2024.6/2~8/3	119	2024.8/3 死亡 国環研に検体を 送付
2024	6	4	オガサワラ オオコウモリ	西町 ネズミ捕獲 用粘着剤付着 →翼膜壊死	注射、皮下点滴、消毒、 外用薬塗布、MRSA 検査	2024.6/4~10/2	15	2024.10/4 野生復帰
2024	6	8	オガサワラ オオコウモリ	清瀬 集合住宅 衰弱→発熱	注射、皮下点滴	2024.6/8~16	4	2024.6/18 野生復帰
2024	6	9	カワリ シロハラ ミズナギドリ	おが丸航路 東京湾近く 甲板で衰弱	初診のみ	2024.6/9	1	2024.6/14 野生復帰
2024	7	16	オガサワラ オオコウモリ	西町 庭木ぶら下 がり 幼獣	MRSA 検査のみ	2024.10/8, 11/14	2	飼育継続中
2024	7	17	オガサワラ ノスリ	扇浦 ホテル裏 うずくまり 粘着素材付着	注射・皮下点滴、消毒、 外用薬塗布、断趾、駆虫、 強制給餌、病理解剖	2024.7/17~9/26	113	2024.9/26 死亡 岩手大に病理 検査依頼
2024	7	27	オガサワラ オオコウモリ	東町 自転車ぶら 下がり	MRSA 検査のみ	2024.10/8, 11/14	2	飼育継続中
2024	7	30	アナドリ	奥村五又路 うずくまり	初診のみ	2024.7/31	1	2024.7/31 野生復帰

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2024	8	27	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢ハウス侵入 (パッション食害防 止のための保護)	MRSA 検査のみ	2024.10/2	1	2024.10/4 野生復帰
2022	9	20	オガサワラ オオコウモリ	飼育個体 保護当時:清瀬 うずくまり 幼獣	診察、MRSA 検査	2023.7/25,8/3	2	飼育継続中
						2024.10/2	1	
2024	9	18	アカガシラ カラスバト	奥村都道 瀕死:捕食による 頸部骨折、裂傷	ICU 入院(10~15 時) (安楽殺の判断中に死亡)	2024.9/18	1	2024.9/18 死亡 国環研に検体を 送付
2024	10	9	オナガ ミズナギドリ	清瀬交差点 うずくまり 衰弱	注射・皮下点滴、 強制給餌、安楽殺、 病理解剖	2024.10/10~19	16	2024.10/19 安楽殺
2024	11	11	オガサワラ オオコウモリ	死亡個体 宮之浜道で回収	病理解剖	2024.11/11	1	死因:感電死 岩手大に病理 検査依頼
2024	11	30	オナガ ミズナギドリ	製氷海岸 巣立ち雛不時着	注射・皮下点滴、 経口投与、病理解剖	2024.12/2~16	8	2024.12/15 死亡
2024	11	30	オナガ ミズナギドリ	奥村発電所 巣立ち雛不時着	注射・皮下点滴、 経口投与、強制給餌	2024.12/2~		飼育継続中
2024	11	30	オナガ ミズナギドリ	大根山自衛隊基地 巣立ち雛不時着 左眼閉、12/1 放鳥 →再保護	注射・皮下点滴、 経口投与	2024.12/2~4	3	2024.12/5 野生復帰
2024	12	26	オガサワラ オオコウモリ	農セン 植栽木絡まり →右上腕骨骨折	皮下点滴、注射	2024.12/26~27	2	2024.12/27 手術前に死亡
2025	1	29	アカガシラ カラスバト	村役場玄関 ガラス衝突	レントゲン検査、皮下点滴	2025.1/29~30	2	2025.1/30 野生復帰
2025	1	31	アカガシラ カラスバト	死亡個体 福祉 C 裏漁港で 回収	病理解剖	2025.2/4	1	死因:骨折
2025	2	2	アカガシラ カラスバト	死亡個体 奥村で回収	病理解剖	2025.2/4	1	死因:骨折
2025	2	3	イソヒヨドリ	東町飲食店 ネズミ捕獲用粘着 剤付着	洗浄・消毒、皮下点滴	2025.2/4~5	3	2025.2/5 死亡
-	-	-	オガサワラ カワラヒワ	#7	換羽期の体調不良の相談	2023.6/30	1	飼育継続中
-	-	-		#1、12、13	糞便検査、MRSA 検査等	2024.11/14,	2	
-	-	-		#16		2025.2/7	6	
-	-	-		#9、11、14、15		2024.11/14	1	
-	-	-				2025.2/7	4	
2022	9	7	域外繁殖用 飼育個体	死亡個体 #5 雌 平島で捕獲		病理解剖	2024.6/29	1
2024	10	3		死亡個体 #17 雄 平島で捕獲	糞便検査 死亡後→病理解剖	2024.10/7,16	2	2024.10/16 死亡 胸膜肺炎、アスペ ルギルス症疑い
2024	6	19	メジロ	農セン 親から脱落	オガヒワ移送試験用個体 糞便検査→コクソジウム 陽性→駆虫薬投与、 MRSA 検査	2024.8/29~9/9	3	2024.9/12 上野動物園に 移送
2024	6	22	メジロ	大神山公園 親から脱落			3	

**(3) 傷病鳥獣のリハビリ補助【動物対処室】**

- ・リハビリ施設の見学のみで、リハビリ補助は未実施。

**(4) 普及啓発【希少連】**

- ・村民だより
  - 5月号（アカガシラカラスバトの事故防止）
  - 7月号（オガサワラオオコウモリの農作物への食害と絡まり事故防止策）
  - 1月号（オガサワラオオコウモリの集団ねぐら保全のお願い）
- ・海鳥レスキュー講習会(12/2)
- ・イルミネーション点灯式（12/14）

**参考1：希少鳥獣等の保護の状況【支庁産業課】**

令和6年度に保護された野生鳥獣153個体（父島：92個体、母島：61個体）のうち希少鳥獣は12個体。そのうち野生復帰は7個体、飼養継続中は3個体、死亡は2個体。詳細は次のとおり（全て父島保護個体）。

- アカガシラカラスバト：保護4羽  
（野生復帰：3羽、死亡：1羽）
- オガサワラオオコウモリ：保護8頭  
（野生復帰：4頭、飼養継続中：3頭、死亡：1頭）

**参考2：事故未然防止及び事故再発防止への対応状況【支庁産業課、環境省】**

- ハト交通事故防止看板の設置（扇浦：10/29-1/31）【支庁産業課】
- バードストライク防止用のバードセイバーの配付（4枚）【環境省】

(5) 残された課題と対応状況

残された課題	主体	対応状況	対応
「小笠原諸島における傷病鳥獣救護に関する考え方（仮称）」の整理	環境省	素案に対する関係機関からの意見を受け環境省内で検討中。	
MRSA等の感染防止対策の整理	環境省	IBO、環境省、小菊獣医師で検討した結果、感染予防対策は、専門的知識を有する対処室の獣医師を中心に再整理する方向にある。 上野動物園平野獣医師へは動物協議会より今後のヒアリング依頼を送付し、承諾済み。ヒアリングは未実施。	
対処室での治療方針の整理	対処室 (村)	対処室については(IV)動物対処室の運営(2)残された課題と対応状況を参照。	
獣医師不在の母島での対応方針	産業課 環境省	一時保護飼養委託では治療や父島搬送は求めず、強制放鳥で問題ない。 長期飼養が見込まれる個体は調整がつけば父島に搬送。	済
計画段階(H24)では想定されていなかった対処室におけるリハビリや長期入院機能については、施設整備の主体や実施範囲、予算措置等を整理	IBO 環境省	野生動物の治療・入院施設として衛生管理できる隔離された小空間の必要性等、IBOからR6年度第1回幹事会にて環境省への提案資料として提出。 →R7年度に野生動物用に動物対処室の機能拡張予定	
		リハビリ機能については、三日月山の仮設のリハビリ施設をR6に応急補修。今後の方針は未定のまま。	
油汚染等傷病鳥獣救護に係る体制構築に向けた研修	環境省 対処室 (村)	WRVとの連携・予算化を環境省で検討(→R6は予算化できず) 環境省企画にて対処室獣医師による油汚染水鳥救護研修(試行版)を実施(2/19) →関係者向け研修の継続	
オガサワラカワラヒワへの対応	土木課 IBO	域外飼育事業において体調不良個体等の診療・処置を対処室獣医師が行う旨を同事業の仕様書に明記する。	済
死亡個体の病理解剖による死因究明	対処室 (村)	事故未然防止・事故再発防止策の検討材料とするために継続する。	
	環境省 IBO	病理解剖後の個体の行き先(国立環境研究所など)は環境省とIBOで整理中	
治療費	環境省	協議会で当面負担するが、環境省等での整理を求める。	

## (Ⅱ) ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策に関すること

### (1) 小笠原ネコに関する連絡調整部会の開催状況【IBO】

○第1回 ネコ連部会：ネコ対策状況共有と課題への取組み（3月24日）

\*外来ネコ研究会セミナー参加（11月15日）

○関係者によるWG・打合せ等

①11/19（小笠原村・動物対処室・IBO）

・母島ネコ譲渡に関する打ち合わせ

②2/13（環境省・小笠原村・動物対処室・IBO）

・ねこまち産まれ子ネコ譲渡について

③2/27 LINE（小笠原村・IBO）

・異動者への子ネコ譲渡に関する意見交換

### (2) 捕獲ネコへの対応【動物対処室、IBO】

- ・令和6年度に一時飼養施設（ねこ待合所）に滞在していたネコ46個体<sup>参考1</sup>のうち、計19個体に、一次的な診察・処置もしくは糞便検査等を実施。
- ・体調不良個体の11個体（うち殺鼠剤中毒疑いによる入院1個体）に、皮下輸液、注射、糞便検査等の各種処置、内服薬処方、レントゲン検査・血液検査（入院個体のみ）、搬送先病院向けの治療経過報告書作成等を実施。
- ・幼ネコ15個体に一時飼養施設におけるネコの駆虫プログラム補助として初回駆虫薬選択のための糞便検査を実施。駆虫薬（ミルベマックス）費用は環境省事業で実費負担。

### (3) 島内譲渡ネコへの対応【動物対処室、動物協議会】

以下の通り譲渡を実施している。譲渡にあたり、親子の糞便検査を実施し駆虫薬を投与。

- ・5月に初寝浦遊歩道入口付近で保護した幼ネコ1頭を6月に譲渡した。
- ・1月に夜明山で捕獲されたネコが4日後に4頭出産したため、この子ネコを対象に2月下旬(3/12㈬)から飼い主を募集したところ6名の希望者があった。獣医師の診察(3/21)により譲渡対象ネコを4頭に確定、抽選により譲渡する予定。

### (4) HP管理、譲渡促進等の普及啓発【IBO、動物協議会】

<島内向け>

- ・母島小学校5年生総合学習（南崎校外学習）11/6・12
- ・世界自然遺産地域連絡会議・科学委員会での事業説明
- ・アカガシラカラスバト保護増殖事業検討会での事業説明
- ・オガサワラオオコウモリ保護増殖事業検討会での事業説明
- ・オガサワラカワラヒワ保護増殖事業検討会での事業説明
- ・第2回オガサワラカワラヒワ保全計画作りWSでの事業説明

- ・(公財)小笠原協会機関紙「小笠原」へのネコ対策記事の寄稿
- ・島内掲示板(ネコの島内譲渡のお知らせ)2月
- ・村民だより3月号(ネコの島内譲渡のお知らせ)
- ・マイケル紙芝居新調(父島お話し会)

#### <島外>

- ・感謝状贈呈
- ・日本獣医師会「2024動物感謝デー in JAPAN」での活動報告 9/21
- ・どうぶつ愛護シンポジウム特別授業へのあかぼっぼ着ぐるみ協力 9/23
- ・筑波大学小笠原自然遺産演習 8/30
- ・ラジオ ニッポン放送番組 原稿チェック(富士フィルム VET システムズ) 6/7
- ・雑誌「保護にゃん4」原稿チェックと写真提供 8/19
- ・緑書房WEB「いきもののわ」原稿チェック(富士フィルム VET システムズ) 7/9.9/2
- ・読売カルチャー「猫学(ニャンロジー)」公開講座への資料提供 2/11
- ・HP運営
- ・マイケル絵本追加印刷に伴う改訂

#### (5) 搬送状況【支庁産業課、動物協議会】

令和6年度に捕獲された39頭(R5年度51頭、R6までの通算:1126頭)を搬送。そのうち7頭は動物協議会負担による有償搬送

#### 参考1: 山域及び集落のネコ捕獲等の状況【環境省、村、IBO】

##### ○捕獲数

令和6年度に捕獲されたネコ42個体がノネコで、飼いネコの誤捕獲はなかった。

母島住民のノネコへの餌やりや拾いネコからの飼養を防止するため、北進線での捕獲を昨年に引き続き不定期実施した。

このほか、ねこまちで産まれたネコは4個体。

詳細は次のとおり。

- ・父島山域ノネコ: 8頭(R5年度19頭)【環境省】
- ・父島集落農地・保護ノネコ: 0頭(R5年度5頭)【村、環境省、協力: IBO】
- ・父島保護ノネコ: 1頭【村、環境省、協力: IBO】
- ・母島山域ノネコ: 32頭(R5年度16頭)【環境省】
  - ※環境省直轄捕獲作業として実施した北進線の9頭を含む(協力: IBO)
- ・母島集落農地ノネコ: 0頭(R5年度0頭)【村、協力: IBO】
- ・母島保護ノネコ: 1頭(R5年度5頭)【村、環境省、協力: IBO】
- ・飼いネコ錯誤捕獲: 0頭(R5年度母島0頭)

○捕獲圧

- ・ 父島山域：9376 罨日（R5 年度 26719 罨日）【環境省】
- ・ 母島山域：10105 罨日（R5 年度 12096 罨日）【環境省】
- ・ 父島集落農地：0 罨日（R5 年度 246 罨日）【村、協力：IB0】
- ・ 母島集落農地：853 罨日（R5 年度 835 罨日）【村、協力：IB0】

○集落内の未登録ネコの状況把握及び捕獲【小笠原村】

これまで実施してきた集落モニタリングが令和4年度で終了。山域から流入するノネコを確認次第迅速に捕獲対応する方針に変更し、令和6年度からモニタリング再開（小笠原村）。

参考2：捕獲ネコ受け入れの調整状況【環境省、東京都獣医師会】

○登録病院数 187 病院

(7) 残された課題と対応状況

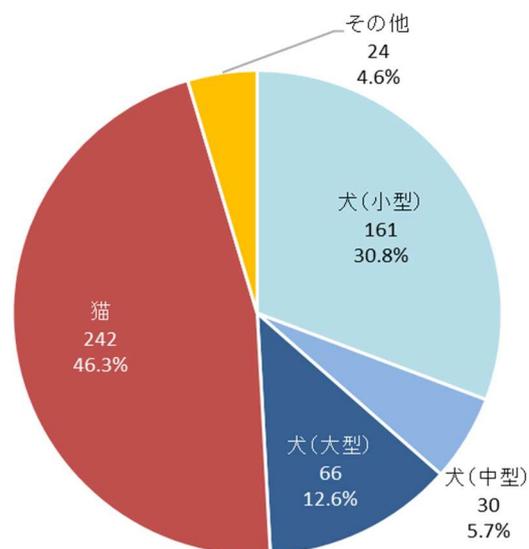
残された課題	主体	対応状況	対応
母島集落のノネコ対策のモニタリング（保全対象含む）、捕獲体制の戦略検討	IBO 村	農地（中ノ平）では、ヒワ出現把握および村&IBO が連携した捕獲体制がほぼ確立。 集落では、R6 から流入ノネコを確認次第迅速に捕獲対応する方針で、環境課でモニタリングを開始。	済
母島北進線等未捕獲地域における島民（観光客）のノネコ保護による不適正飼養化 ※12月雨中橋付近で2匹の幼ネコを島民が保護し飼育。他者からの報告により発覚。	環境省 IBO	島民・観光客向けの広報チラシを改定。R7 から転入者向けに配布予定。保護連絡時の対応を整理。 R5 から関係者による LINE グループを開始し、タイムリーな目撃情報を共有するシステムを作り運用。 R5 から環境省直轄試験捕獲を実施（協力：IB0）。その後道路沿いに7台のセンサーカメラを設置し、モニタリングを実施。目撃撮影状況に応じた捕獲を実施中も、体制面（捕獲、一時飼養、搬送）から即応は出来ておらず。	試 行 段 階
母島未捕獲地域の石門等重要保全エリアでのネコ対策（新規） ※石門でアカガシラカラスバトの確認が急減	IBO 林野庁		
長期間治療が必要な個体の治療方針や日常的な処置の範囲は、ノネコ捕獲の事業主体が東京都獣医師会に助言を仰ぎつつ、懸案に応じて臨機応変に対応。	環境省 IBO	幼ネコの糞便検査については、動物対処室の協力により実施。	済

残された課題	主体	対応状況	対応
母島は獣医師不在のため、母島で捕獲したノネコを父島に搬送する前に早急に措置が必要な場合は、保定や感染症対策等の課題があるため、現状の体制では困難。	I B O	体制のある父島への早期搬送で対応中。 母島の保護ネコの受け入れ施設としても運用可能な母島ネコ待ちを設置し機材準備中。 令和7年ライフラインの整備が済み次第運用予定。(IBO)。	施行段階
妊娠ネコの扱い	I B O 環境省 協議会 (村)	妊娠ネコや搬送前に出産した母猫と仔猫は、まとめて引き受けが可能な動物病院を探索し、速やかに搬送する。 親子まとめての譲渡が不可能な場合、生後56日を経るまでは譲渡しない。その場合の一時飼養については、捕獲事業主体が費用負担することとし、島内譲渡とする場合は、協議会が費用負担する。	済
捕獲ネコの島内譲渡体制の現状整理	協議会 (村) I B O 環境省	ネコ飼養希望者リスト作成。リスト化の説明を随時実施中。 捕獲ネコのうち、島内譲渡に適した個体については島内譲渡を検討する。 ネコプロジェクト外で保護されたネコや不適正飼養のネコについては、まず島内で譲渡先を探し、見つからない場合はネコ連で協議し対応する。	済
治療費	環境省 I B O	協議会で当面負担するが、捕獲事業主体での整理が必要。	

### (Ⅲ) ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進

#### (1) ペットの診療を通じた適正飼養指導等【動物対処室】

- ・令和6年度は、104個体（猫49個体、犬47個体、その他（ウサギ、モルモット、クサガメ、ニワトリ、セキセイインコ）8個体）へのペット診療を延べ523回（内訳は下グラフ参照）実施。
- ・初診の飼い主に対しては、マイクロチップの装着確認と装着推奨を実施。マイクロチップ装着は猫6件（父島4件、母島2件）、犬1件（父島）、避妊・去勢手術は猫1件（父島）、犬1件（母島）。
- ・母島向けは、巡回相談・診療を月1回行うとともに、必要に応じてオンライン診療による薬の処方や応急処置の指導等を実施。
- ・狂犬病予防集合注射の実施については、東獣と都内市区町村で覚書を結んでいることから、村は東獣の会員である対処室獣医師に依頼。犬の飼い主に村から案内を出し、動物対処室及び母島支所にて実施。
- ・受診したペットへは獣医師による飼養状況の把握（当該動物・同居動物の確認）を行い、村に情報共有。診療を通じたペットの適正飼養（飼育環境、食餌等）の相談又は指導を実施。



図：令和6年度の動物種別の診療実績

#### (2) 飼い主の利用促進を図った無料相談の推進【動物対処室】

- ・無料相談の実績は、しつけ指導71件（犬：父島16件、母島54件、猫：母島1件）、飼い方相談7件。
- ・犬の飼い方ルール（ノーリード、散歩時の糞便）に関する適正飼養の指導。

表：令和6年度の診療内容一覧

診療内容（疾患名）	イヌ	ネコ	その他
泌尿器疾患	26	94	4
皮膚疾患	28	11	1
耳の疾患	4	0	0
歯・口腔内疾患	2	8	5
眼の疾患	3	2	1
循環器疾患	1	5	0
消化器疾患	11	33	3
肝・胆・膵疾患	5	1	0
呼吸器疾患	6	4	1
神経疾患	23	0	0
筋骨格系疾患	6	3	2
血液・免疫疾患	0	0	0
生殖器疾患	0	0	3
内分泌疾患	0	21	2
腫瘍疾患	0	23	2
寄生虫症	4	2	0
感染症	0	1	0
外傷	3	0	1
誤食・中毒	1	0	0
日常ケア	42	5	5
その他の症状・疾患	4	0	1
予防診療			
健康診断	3	8	0
フィラリア予防	55	0	0
ノミ・ダニ予防	45	4	0
内部寄生虫駆除・予防	3	3	0
混合ワクチン接種	32	32	0
狂注接種（集合注射以外）	6	0	0
マイクロチップ装着	1	6	0
避妊・去勢手術	2	4	0
しつけ	70	1	0
相談	2	5	0
物販	1	3	0

※1件で複数の診療内容の場合があるため、診療実績と診療内容数の合計は異なる。

表：令和6年度の動物種別カルテ

動物種	カルテ数
犬（小型）	34
犬（中型）	16
犬（大型）	8
猫	62
その他	20

※これまでに受診したその他ペット

モルモット  
ハリネズミ  
ニワトリ  
ハムスター  
ウサギ  
セキセイインコ  
文鳥  
ウズラ  
クサガメ

(3) ペットの飼養状況の把握【村、動物対処室】

表：ネコの登録状況と動物対処室受診状況

	父島				母島			
	2011年度	2017年度	2023年度	2024年度	2011年度	2017年度	2023年度	2024年度
台帳登録数	92	61	45	48	16	11	23	23
新規登録数	-	4	2	9	-	0	3	1
登録世帯数	59	44	32	36	7	6	16	15
最大多頭飼養数	13	4	4	3	4	3	3	4
マイクロチップ装着率	85%	91.8%	95.6%	89.6%	63%	90.9%	100%	100%
避妊去勢率	96%	96.7%	97.8%	95.8%	100%	100%	100%	91.3%
室内飼養率	41%	83.7%	95.6%	95.8%	25%	27.3%	91.3%	91.3%
受診率 (累積) ※1	-	36.7%	91.1%	83.3%	-	18.2%	82.6%	95.7%
飼い主受診率 (累積) ※1	-	38.6%	87.5%	86.1%	-	33.3%	87.5%	86.7%
単年受診数※2	-	26	34	33	-	2	17	16
ワクチン接種数※3	-	-	13	16	-	-	11	12

表：イヌの登録状況と動物対処室受診状況

	父島			母島		
	2017年度	2023年度	2024年度	2017年度	2023年度	2024年度
台帳登録数	68	55	54	10	10	10
新規登録数	7	5	2	0	2	0
登録世帯数	54	46	46	10	9	9
最大多頭飼養数	7	5	5	1	2	2
マイクロチップ装着率	67.6%	67.3%	74.1%	90.0%	90%	90%
避妊去勢率	-	74.5%	74.1%	-	60%	60%
受診率 (累積) ※1	47.1%	96.4%	92.6%	80.0%	90.0%	80.0%
飼い主受診率 (累積) ※1	48.1%	97.8%	91.3%	80.0%	88.9%	77.8%
単年受診数※2	36	40	39	8	9	8
狂注接種数※4	-	48 (2)	47 (1)	-	10	10 (1)

※1：台帳抹消のネコ、イヌ除く

※2：台帳抹消のネコ、イヌ含む

※3：対処室にて混合ワクチンを接種したネコ（内地のかかりつけ医は含まない）

※4：台帳抹消のイヌ除く。接種数には猶予（不適當）を含み、カッコ内は猶予の件数を示す

#### (4) 普及啓発【村、動物協議会】

##### ○村民だより

- ・ 転入者への普及啓発（5月：村）
- ・ 母島巡回ペット診療・相談（毎月）

#### 参考：ペット条例の運用【村】

##### ○広報

- ・ 転入者への転入時のペット条例のパンフレット配布（随時）
- ・ 村民だより
  - 4月号（ペットの登録と飼養状況報告のお願い、ペット条例の改正）
  - 5月号（転入者への普及啓発）
  - 9月号（動物愛護週間にペット防災を考える）
  - 10月号（動物持込み申告試行開始）
- 毎月（狂犬病予防注射のお願い、飼養登録のお願い、持込み申告のお願い）
- ・ リーフレットを船待3ヶ所、ビジター、遺産センター、Bシップに設置。内地の観光関係団体等に配布。
- ・ 条例紹介パネルを船待3ヶ所、おが丸ペットルーム、遺産センター、役場環境課ロビー、動物対処室に掲示
- ・ 持込み申告パネルを竹芝、おが丸船内に掲示。同チラシを竹芝の申告受付所、小手荷物受付所に設置

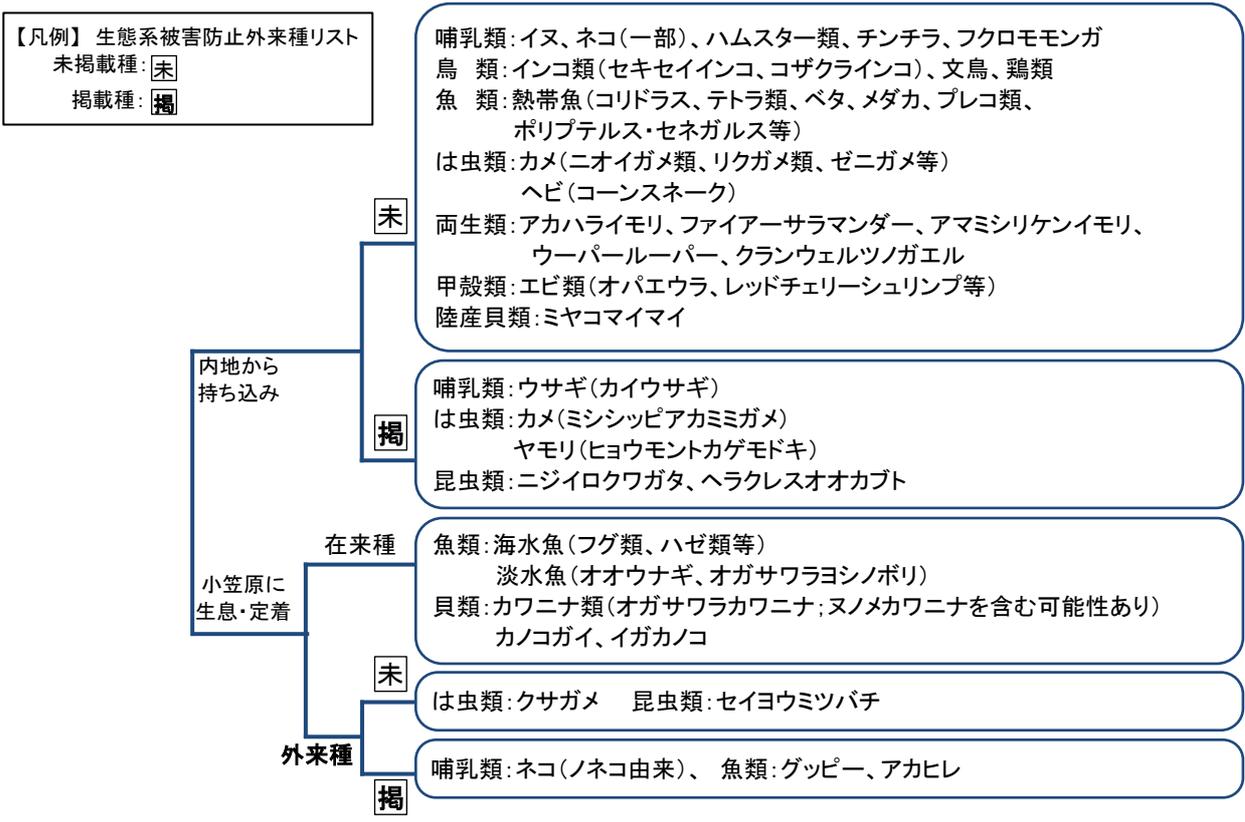
#### ○飼養登録→160世帯登録（内訳は下表、登録動物種は次頁参照）

表：飼養登録状況

動物種	猫	犬	その他
登録頭数（父・母）	71（48・23）	64（54・10）	135（122・13）
登録世帯数（父・母）	51（36・15）	55（46・9）	65（58・7）

※ネコ、イヌ、その他のペットを複数種飼養している世帯があるため、重複がある

※その他では、ヒョウモントカゲモドキの仲間、リクガメ類、ニオイガメ類、ミシシッピアカミミガメ、コザクラインコ、ヘラクレスオオカブト、モルモット、クサガメ（島内）、ヌマエビ・グッピー（島内）等が新規登録。抹消はヒメウズラ、ニワトリ、ヒョウモントカゲモドキ・ボールパイソン、セキセイインコ、コイ、ニホンアマガエル等。



図：登録動物の分類

○登録飼い主向けの対応

- ・飼養登録申請後に飼養登録証を発行（随時）
- ・飼い主案内を郵送にて発行（9月：動物持込み申告試行開始のお知らせ含む、3月：飼養状況報告のお願い含む）

○審議会

第1回（3月24日 予定）会長の互選、ペット条例の運用状況

○動物の持込み申告試行（令和6年10月開始）

【申告方法】

- ・事前の環境課への申告書の提出またはWebフォームでの申告
  - ・おがさわら丸出港日の竹芝客船ターミナルにおける申告受付
- 申告者には申告証明書を交付

【申告内容】

- ・ペット登録の有無、動物の種類、性別、数、飼養目的（ペット、その他の目的）、特徴、持ち込む方法（おがさわら丸の場合のペトルーム使用・チッキ・貨物輸送、その他の方法（郵便、ヨットによる持込みなどを想定）、持込み期間

【試行実績】

持込み年月	申告数	ペットルーム使用数	申告率
令和6年10月	9件 犬9頭	—	—
11月	6件 犬5頭 猫1頭	—	—
12月	11件 犬11頭 猫1頭	13頭 犬11頭 猫2頭	84.6%
令和7年1月	11件 犬9頭 猫2頭	13頭 犬10頭 猫3頭	84.6%
2月	4件 犬4頭	9頭 犬9頭	44.4%

(6) 残された課題と対応状況

残された課題	主体	対応状況	対応
ペット飼養を否定しない環境づくりとノネコのノラネコ化防止については、むやみな餌やり防止等の村民全体の動物との付き合い方の意識醸成を図る。	協議会 (村)	令和4、5年度は入交獣医師によるしつけ教室・飼い方相談を実施。今後は、東京都動物愛護センターによるしつけ教室等も検討する。 ネコの島内譲渡は村民からのニーズ等に応じ対応中。	
母島のペット診療は診療場所の広さ、衛生面に大きな課題がある。	協議会 (村)	令和5年度から診療場所が母島支所の屋外倉庫から支所2階の小会議室になったことで、広さと衛生面の課題はクリアできた。ただし、手術は衛生面を考慮し対処室で実施。	済
犬の繁殖防止措置を推進するための対処室で避妊去勢手術を実施できる設備・体制の整備。	協議会 対処室 (村)	令和4、5年度は東京都獣医師会の派遣診療により犬の避妊去勢手術等を実施。 令和5年度末現在、犬猫とも対処室での避妊去勢手術が可能。	済
犬猫の適正飼養の強化を図り「小笠原における【ネコ・イヌ】の適正飼養ガイドライン(仮称)」の作成を検討する。	村 I B O	犬のガイドライン構成案を検討中。	
ペットの診療手数料については、飼い主の診療ニーズを把握し、過剰診療とならないよう適切・適度な診療の実施に努める。	対処室 (村)	1頭当たりの年間平均手数料は、開設当初の約8.5万円から半額程度となり、適切・適度な診療を推進している。	済
飼い主の診療ニーズに応じながら効率的な診療を実施するため、診療内容や検査量の精査を継続中。	対処室 (村)	1頭当たりの平均診療回数は、開設当初の8回程度から5回程度となり、効率的な診療を推進している。 なお、週3日だったペット向け診療日を令和5年度から実質週5日とし、予約を取りやすくした。	済
村と対処室で連携してペット条例に基づくペットの飼養状況を把握するとともに、ペット診療を通じた飼養状況の確認と適正飼養指導等実施。	対処室 村	今後は対処室と村で飼い主訪問等を実施予定。	

#### (IV) 動物対処室の運営【動物協議会】

##### (1) 実施報告

協議会の事業を推進させることを目的に、関係機関・団体それぞれが実施している事業と連携する形で、野生動物の治療や必要に応じたノネコの処置、ペット診療及び診療行為を通じた適正飼養の指導を実施した。

○獣医師、動物看護師と事務局（環境課自然環境係）で運営

○出前授業・飼育講習

- ・小笠原小学校1年生向けにニワトリを用いた動物ふれあい授業(12月)
- ・小笠原小学校飼育栽培委員会(4～6年生)と担当教員へのニワトリの飼育講習(6月:獣医のお仕事、10月:ニワトリって)
- ・母島小学校はニワトリがないため未実施

○動物対処室の視察・見学対応

- 6月 金城獣医師(元沖縄こどもの国)  
シモヅノ学園国際動物専門学校 先生1名・学生21名
- 8月 筑波大学 吉田先生、飯田先生、世界遺産学学位プログラム学生18名  
東京都自然環境部 宮武部長
- 9月 環境省関東地方環境事務所 4名  
東京動物園協会 高橋氏、平野氏ら7名
- 2月 東京動物園協会 高橋氏、白石氏ら10名

表：令和6年度の事業別実績

事業名	(I)野生動物の保護	(II)飼い主のいないネコ対策	(III)ペットの適正飼養の推進
診療個体数	45個体	19個体	104個体
診療延べ回数	420回	65回	523回
(割合)	41.7%	6.4%	51.9%
平均診療回数	9.3回/個体	3.4回/個体	5.0回/個体
最大診療回数	119回/個体(ハト) 113回/個体(ノスリ)	15回/個体(入院個体)	49回/個体(ネコ)
診療費合計*	3,696,429円	373,945円	4,131,608円
(割合)	45.1%	4.6%	50.4%
平均診療費*	82,143円/個体	19,681円/個体	39,727円/個体

※(I)及び(II)の診療費は作業量の目安として算出

(2) 残された課題と対応状況

残された課題	主体	対応状況	対応
MRSA感染症予防対策として、「動物対処室におけるMRSA院内感染対策マニュアル」を作成中。現時点のものは、ペット診療時等の一般的な予防策のみの記載となっているため、野生鳥獣対応時の内容を検討中。	対処室 (村)	対処室の現獣医師がマニュアルを精査中であるものの、同室でペットと野生動物の両方の診療・治療をしながら完全な感染対策を定めることは難しいのが現状である。	
現在の協議会運営は、村の負担金とペット診療手数料のみで成り立っている。各構成機関等による負担の考えを整理する必要がある。	協議会 全体		
清掃・庶務業務への人員の必要性・雇用形態等を検討する。	対処室 (村)	MRSA等感染症対策が必要となった際に清掃業務等の負担が増えることを懸念し、用務員の雇用を検討していたが、現状では必要ない。 今後、事務局移管などによる状況の変化にあわせて必要に応じ検討する。	済
令和4年度に給与規定を一部見直したが、昇給時期、経験年数等も整理する必要がある。	協議会 (村)	令和6年度第2回総会にて意見のあった獣医師給与の見直しとあわせて検討する。	
村負担金の交付及び村が協議会の事務局を担っていることに関して、小笠原村会計監査員から適切でない旨の指摘を受けている (R5.8.29)。負担金交付の在り方と村が事務局業務を担っていることについて検討する必要がある。	協議会 全体	令和5年度第2回幹事会にて動物協議会の運営の在り方について、参画団体に報告。 事務局移管スケジュール(案)を提示(資料5参照)。	

参考：動物対処室の事業別作業量（平成29年度から令和5年度）

事業名	(1)野生動物の保護	(2)飼い主のいないネコ対策	(3)ペットの適正飼養の推進
平成29年度			
診療個体数	31個体	22個体	77頭
診療延べ回数	約260回	約190回	666回
割合	23.3%	17%	59.7%
平均診療回数	8.4回/個体	8.6回/個体	8.6回/頭
最大診療回数	86回/個体(飼育個体)	146回/個体(糖尿病個体)	42回/頭
平成30年度			
診療個体数	24個体	53個体	76頭
診療延べ回数	194回	314回	634回
平均診療回数	8.1回/個体	5.9回/個体	8.3回/頭
最大診療回数	57回/個体	73回/個体	42回/頭
診療費合計*	1,712,400円	2,505,241円	6,452,890円
割合	16.0%	23.5%	60.5%
令和元年度			
診療個体数	17個体(うち飼育個体5個体)	42個体	72頭
診療延べ回数	406回(うち飼育個体191回)	114回	716回
平均診療回数	23.9回/個体	2.7回/個体	9.9回/頭
最大診療回数	81回/個体(飼育個体)	17回/個体	52回/頭
診療費合計*	3,013,794円	988,999円	8,190,754円
割合	24.7%	8.1%	67.2%
令和2年度			
診療個体数	15個体	67個体	109個体
診療延べ回数	314回	320回	671回
平均診療回数	20.1回/個体	4.8回/個体	6.2回/頭
最大診療回数	56回/個体	52回/個体	38回/個体
診療費合計*	2,617,978円	3,619,737円	7,128,273円
(割合)	19.6%	27.1%	53.3%
令和3年度			
診療個体数	14個体	18個体	113個体
診療延べ回数	215回	41回	701回
平均診療回数	15.4回/個体	2.3回/個体	6.2回/頭
最大診療回数	56回/個体	6回/個体	34回/個体
診療費合計*	1,463,627円	297,275円	7,187,195円
(割合)	16.4%	3.3%	80.3%
令和4年度			
診療個体数	7個体	26個体	106個体
診療延べ回数	383回(ハト入院含む)	35回	603回
平均診療回数	54.7回/個体	1.3回/個体	5.7回/頭
最大診療回数	302回/個体(入院個体)	5回/個体	30回/個体
診療費合計	1,601,171円	250,283円	6,759,512円
(割合)	18.6%	2.9%	78.5%
令和5年度			
診療個体数	46個体	42個体	106個体
診療延べ回数	230回	222回	570回
平均診療回数	5回/個体	5.3回/個体	5.4回/個体
最大診療回数	26回/個体(コウモリ) ハト入院個体除く	25回/個体(入院個体)	61回/個体(ネコ)
診療費合計	1,994,036円	1,410,585円	5,132,838円
(割合)	23.4%	16.5%	60.1%

事業名	(1)野生動物の保護	(2)飼い主のいないネコ対策	(3)ペットの適正飼養の推進
令和6年度			
診療個体数	45個体	19個体	104個体
診療延べ回数	420回	65回	523回
平均診療回数	9.3回/個体	3.4回/個体	5.0回/個体
最大診療回数	119回/個体(ハト) 113回/個体(ノスリ)	15回/個体(入院個体)	49回/個体(ネコ)
診療費合計	3,696,429円	373,945円	4,131,608円
(割合)	45.1%	4.6%	50.4%

※平成30年度からは飼い主価格(1、2の診療費は作業量の目安)をもとに作業量を比較。

参考：主な野生動物の対応実績(平成29年度から令和5年度)

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
平成29年度以前に保護された個体、IBO飼育個体								
2009	11	20	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体)	血液検査、糞便検査、 皮下点滴・注射	2017.11/18~21	6	2017.11/21 死亡
2009	12	31	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 健康診断、 元気低下	血液検査、細胞診、 皮下点滴・注射	2018.5/24 2019.7/4~1/28	26	飼育継続中
2011	9	15	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 健康診断	血液検査、内服薬	2019.8/1~3/27	9	飼育継続中
2012	9	27	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 健康診断	血液検査	2017.12/5	1	2018.2/26 死亡
2014	8	5	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体)	細菌学的検査、 皮下注射、翼膜洗浄、 外用薬塗布	2017.9/21~11/21	86	2017.12/11 死亡
2016	6	20	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体)	血液検査、皮下注射、 外用薬塗布	2017.6/23~7/20	20	2020.8/10 死亡
2016	8	25	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 爪の外傷	皮膚検査、外用薬塗布、 内服薬、皮下注射	2018.5/10~5/23、 8/16~8/21 2019.10/1~3	9	飼育継続中
2017	1	4	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 翼膜の外傷	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.10/14~3/27	81	飼育継続中
平成29年度 下記その他、海鳥類11羽(シロハラミズナギドリ2羽、セグロミズナギドリ1羽、カツオドリ2羽、 コゲンカンドリ1羽、ハワイセグロミズナギドリ1羽、アナドリ2羽、オナガミズナギドリ1羽、 シラオネツタイチョウ1羽)、その他の鳥類10羽を治療								
2017	4	17	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 キュウリネット 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、内服薬	2017.4/18~6/1 2018.5/26	71	2018.5/27 野生復帰
2017	7	6	オガサワラ オオコウモリ	扇浦 キュウリネット 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射	2017.7/7~13	12	2017.7/13 野生復帰
2017	8	22	アカガシラ カラスバト	大根山汚水 処理場の沈殿槽に 落下	スワブ検査、皮膚検査、 保温、皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除	2017.8.22	1	2017.8/23 死亡
2017	8	25	オガサワラ オオコウモリ	農セン展示園	血液検査、保温、 皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除	2017.8/25	1	2017.8/26 死亡

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2017	9	4	コアホウドリ	父島周辺の海上	レントゲン検査、保温、皮下点滴・注射、外部寄生虫駆除	2017.9/4~14	5	2017.9/15 野生復帰
2018	1	31	アカガシラ カラスバト	清瀬(若島)	糞便検査、強制給餌、皮下点滴・注射、内服薬	2018.1/31~2/9	10	2018.2/19 野生復帰
平成30年度 下記の他、カツオドリ、アナドリ2羽、メダイチドリ、トラツグミを治療								
2018	5	11	オガサワラ オオコウモリ	コーヒー山 高木果樹 ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射	2018.5/11~23	21	2018.5/24 野生復帰
2018	6	15	オガサワラ ノスリ	小港ロータリーで 衰弱	皮下点滴・注射	2018.6/15~16	2	2018.6/17 死亡
2018	6	27	アカガシラ カラスバト	小学校の 窓ガラスに衝突	死亡確認	2018.6/27	1	2018.6/27 死亡
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島 キュウリ ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~7/26	33	2018.8/3 野生復帰 (母島) →2019.6.1 死亡発見
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島 ハウス 侵入(絡まり)	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~6	3	2018.7/7 野生復帰 (母島)
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島 ハウス 侵入(絡まり)	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~6	3	2018.7/7 野生復帰 (母島)
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島 キュウリ ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~13	18	2018.7/14 野生復帰 (母島)
2018	8	8	アカガシラ カラスバト	テグス絡まり	皮下点滴・注射	2018.8/8~9	2	2018.8/9 死亡
2018	8	27	オガサワラ オオコウモリ	都道脇にて 親からの脱落	血液検査、皮下点滴・注射	2018.8/27~29、 10/24	4	飼育継続中
2018	10	12	オガサワラ オオコウモリ	桑の木山 有刺鉄線 絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射	2018.10/12~ 11/27	57	2019.1/15 野生復帰
2018	10	22	オーストン ウミツバメ	扇浦で人工灯誘因	皮下点滴・注射	2018.10/22	1	2019.10/24 死亡
2019	1	4	アカガシラ カラスバト	西町で人工物衝突	皮下点滴・注射、強制給餌	2018.1/5	2	2019.1/6 死亡
2019	1	26	オガサワラ オオコウモリ	奥村で衰弱(幼獣)	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射	2019.1/26	1	2019.1/31 死亡
2019	1	31	オガサワラ オオコウモリ	二見港で衰弱(亜成獣)	血液検査、皮下点滴・注射	2019.1/31	1	2019.1/31 死亡
2019	3	16	アカガシラ カラスバト	長谷トンネル 交通事故	皮下点滴・注射、強制給餌、ICU(入院、保温)	2019.3/16~26	17	2019.3/26 多摩動物 公園へ搬送
2019	3	24	アカガシラ カラスバト	宮之浜道で 電線衝突	レントゲン検査、皮下点滴・注射、ICU(入院、保温)、包帯	2019.3/24~26	5	2019.3/26 上野動物園へ搬送
令和元年度 下記の他、メジロを治療								

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2019	4	6	オガサワラ オオコウモリ	東町 テグス絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.4/6~7/5	44	2019.7/9 野生復帰
2019	4	6	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 キュウリネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.4/6~7/8	56	2019.7/9 野生復帰
2019	5	10	オガサワラ オオコウモリ	奥村 防鳥ネット 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.5/10~6/25	30	2019.7/5 野生復帰
2019	5	20	オガサワラ オオコウモリ	母島元地 ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 ※母島応急処置あり	2019.5/21~6/25	24	2019.6/29 野生復帰 (母島)
2019	6	21	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 ハウス 迷い込み	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.6/21~7/2	7	2019.7/5 野生復帰
2019	7	4	アカガシラ カラスバト	奥村 ガラス扉内 迷い込み	糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬	2019.7/4~25	21	2019.7/27 野生復帰
2019	7	9	アカオ ネットアイ チョウ	おが丸 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 食餌介助	2019.7/9~26	19	2019.7/27 野生復帰
2019	7	21	アカガシラ カラスバト	大神山公園 ガラス衝突	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 糞便検査	2019.7/21~26	6	2019.7/27 野生復帰
2019	7	29	オナガ ミズナギドリ	三日月山 うずくまり	診察	2019.7/29	1	2019.8/2 野生復帰
2019	8	9	オガサワラ ノスリ	北袋沢 うずくまり	血液検査、 皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)	2019.8/9~12	4	2019.8/12 死亡
2019	9	7	オガサワラ オオコウモリ	西町 枝ぶらさがり	眼科検査	2019.9/7	1	2019.9/8 野生復帰
令和2年度								
2020	4	14	アカガシラ カラスバト	大神山公園 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 糞便検査、翼洗浄・消毒	2020.4/14~19	12	2020.4/19 多摩動物 公園へ搬送
2020	7	28	オガサワラ オオコウモリ	農セン内 バナナの 繊維絡まり	血液検査、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2020.7/29~9/7	49	2020.9/8 野生復帰
2020	7	29	アカオ ネットアイ チョウ	おが丸 うずくまり	レントゲン検査、皮下点 滴・注射、強制給餌、 ICU(入院・保温)	2020.7/29~8/1	6	2020.8/1 上野動物園へ搬 送
2020	8	12	オガサワラ ノスリ	中山峠 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 強制給餌、糞便検査	2020.8/12~21	14	2020.8/21 野生復帰
2020	11	12	オガサワラ オオコウモリ	西町 骨折・衰弱 (亜成獣)	皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、 レントゲン検査、血液検 査	2020.11/16~17	4	2020.11/17 上野動物園へ搬 送

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2020	12	16	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり (妊娠♀)	レントゲン検査、 血液検査、皮下点滴・ 注射、 翼膜洗浄・消毒	2020.12/16~ 2021.2/16	56	2021.4/5 リハビリ経て 野生復帰
2020	12	21	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり (妊娠♀)	血液検査、皮下点滴・ 注射、 翼膜洗浄・消毒	2020.12/21~ 2021.2/16	50	2021.4/5 リハビリ経て 野生復帰
2021	1	4	アカガシラ カラスバト	旭平 うずくまり	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 強制給餌、包帯法、 ICU(入院・保温)	2021.1/4~10	12	2021.1/10 上野動物園へ搬 送 (1/14 死亡)
2021	3	12	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり (妊娠♀)	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒、 爪切り	2021.3/12~4/1	28	2021.4/5 野生復帰
2021	3	12	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒、 爪切り	2021.3/12~30	24	2021.4/1 野生復帰
2021	3	12	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒、 爪切り	2021.3/12~22	11	2021.3/26 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒、 爪切り	2021.3/13~4/1	17	2021.4/1 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒、 爪切り	2021.3/13~19	8	2021.3/20 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒、 爪切り	2021.3/13~19	8	2021.3/20 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒、 爪切り	2021.3/13~30	16	2021.4/1 野生復帰
令和3年度								
2021	4	14	アカガシラ カラスバト	父島長谷橋 うずくまり	レントゲン検査、 洗浄・消毒、皮下注射	2021.4/19~20	2	2021.4/20 多摩動物 公園に搬送
2021	4	19	アカガシラ カラスバト	父島長谷トンネル うずくまり	レントゲン検査、 洗浄・消毒、 皮下点滴・注射	2021.4/19~20	2	2021.4/20 多摩動物 公園に搬送
2021	6	29	オガサワラ オオコウモリ	父島桑ノ木山 ネット絡まり (妊娠中)	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒	2021.6/29~9/2	56	2021.9/10 野生復帰
2021	6	29	オガサワラ オオコウモリ	父島桑ノ木山 ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒	2021.6/29~8/12	50	2021.9/10 野生復帰
2021	6	29	オガサワラ オオコウモリ	父島桑ノ木山 ネット絡まり (亜成獣)	血液検査、皮下点滴・ 注射、翼膜洗浄・消毒	2021.6/29~7/30	45	2021.9/10 野生復帰
2021	7	25	オガサワラ ノスリ	洲崎ネコ かご混獲	状態確認	2021.7/25	1	2021.7/25 放鳥

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2021	8	3	オガサワラ オオコウモリ	清瀬都住近くの林 ぶら下がり	血液検査、 レントゲン検査、 皮下点滴・注射	2021.8/3~10/6	21	2022.1/3 野生復帰
2021	8	8	オガサワラ オオコウモリ	西町 ぶら下がり (亜成獣) 右翼開放骨折	血液検査、外用薬塗布、 レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2021.8/8~11 ※内地にて MRSA 検出	6	2021.8/11 上野動物園に 搬送 →2023.5/19 安楽殺
2021	8	19	アカガシラ カラスバト	バス営業所 バードストライク	レントゲン検査 皮下点滴・注射、 ICU(入院、保温)	2021.8/19~20	2	2021.8/20 放鳥
2021	9	9	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 ぶら下がり 左上腕骨解放骨折	血液検査、マッサージ、 レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2021.9/10~19 ※内地にて MRSA 検出	11	2021.9/19 上野動物園に 搬送 →12/20 死亡
2021	9	25	オガサワラ オオコウモリ	母島評議平 ネットハウス 迷い込み	皮下点滴・注射	2021.9/25~10/4	16	2021.10/9 野生復帰 (母島)
2021	11	11	アカガシラ カラスバト	宮之浜 バードストライク	皮下注射、ICU、 レントゲン検査(死亡後)、	2021.11/11	1	2021.11/11 死亡
2022	3	4	アカガシラ カラスバト	母島 村民会館 バードストライク	皮下注射、 MRSA 検査:陰性、 レントゲン検査	2022.3/7	1	2022.3/9 野生復帰 (母島)
2022	3	6	カツオドリ	扇浦海岸 うずくまり	MRSA 検査(死亡後) :陰性	2022.3/8	1	2022.3/7 死亡
令和4年度								
2022	5	30	アカガシラ カラスバト	屏風谷トンネル 歩行(幼獣)	入院、ICU、糞便検査、 皮下点滴・注射、投薬、 MRSA 検査:陰性	2022.5/30~ 6/2	4	2022.6/2 野生復帰
2022	6	30	アカガシラ カラスバト	扇浦 うずくまり 右癒合鎖骨 骨折	入院、ICU、糞便検査、 レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 MRSA 検査:陰性	2022.7/1~21	42	2022.7/21 上野動物園に 搬送
2022	7	11	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 ネット絡まり	指示のみ(消毒、皮下点 滴・注射、MRSA 検査)	2022.7/11~ 8/1	9	2022.9/16 野生復帰
2022	7	18	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 ハウス迷い込み	指示のみ	2022.7/22~ 23	2	2022.8/16 野生復帰
2022	7	28	オガサワラ オオコウモリ	長谷 有刺鉄線 絡まり	指示のみ(消毒、皮下点 滴・注射)	2022.7/28~ 8/9	23	2022.9/16 野生復帰
2018	8	15	オガサワラ オオコウモリ	(IBO 生まれ 飼育個体) 翼膜の外傷	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.11/21~ 1/28	74	2023.2/23 どうぶつたちの 病院沖縄に搬送 →5/3 帰島 飼育継続中
					指示のみ(内服薬処方)	2023.2/15	1	
令和5年度								
2022	6	24	アカガシラ カラスバト	奥村 うずくまり 尾羽無し	入院、ICU、糞便検査、 皮下点滴・注射、 MRSA 検査:陽性→陰転	2022.6/24~ 7/23~3/31 (入院のみ)	302	2023.4/29 安楽殺
					入院	2023.4/1~29	29	

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2023	4	7	アカガシラ カラスバト	八瀬川 片翼たれていた	洗浄・消毒、皮下点滴・ 注射、MRSA 検査：陰性	2023.4/7~11	6	2023.4/12 上野動物園に 搬送 →手術中に死亡
2023	4	7	アカガシラ カラスバト	小学校入口 バードストライク	皮下点滴、 MRSA 検査：陰性	2023.4/7~11	4	2023.4/12 上野動物園へ 搬送
2023	4	8	オガサワラ オオコウモリ	清瀬の公園で 衰弱 右上腕骨の 複雑骨折	外科手術、血液検査、 レントゲン検査、洗浄・ 消毒、皮下点滴・注射	2023.4/9~18	19	2023.4/18 手術中に死亡
-	-	-	カツオドリ	飼育個体 衰弱→死亡	細胞診、食餌介助、皮下 点滴・注射、病理解剖	2023.5/14,15	2	死因：斃死
2023	5	28	オガサワラ オオコウモリ	西町ネット絡まり 右前膜翼膜壊死	洗浄・消毒、皮下注射	2023.5/29~6/11	15	2023.7/7 野生復帰
2023	6	7	オガサワラ オオコウモリ	小曲ネット絡まり 熱中症、翼膜壊死	洗浄・消毒、皮下点滴・ 注射、MRSA 検査	2023.6/7~ 8/3	25	2023.8/25 野生復帰
2023	6	7	オガサワラ オオコウモリ	小曲ネット絡まり 熱中症、翼膜壊死	洗浄・消毒、皮下点滴・ 注射	2023.6/7~ 8/24	26	飼育継続中
2023	6	7	オガサワラ オオコウモリ	小曲ネット絡まり 熱中症、翼膜壊死	血液検査、洗浄・消毒、 皮下点滴・注射	2023.6/7~ 8/24	26	飼育継続中
2023	6	24	アカオネットイ チョウ	二見港 船甲板 うずくまり	レントゲン検査	2023.6/26	1	2023.7/1 南硫黄島沖で 野生復帰
2023	7	27	オガサワラ ノスリ	死亡個体 行文線路上回収	病理解剖	2023.7/27	1	死因：斃死
2022	9	20	オガサワラ オオコウモリ	清瀬うずくまり 幼獣（飼育個体）	診察、MRSA 検査	2023.7/25, 8/3	2	飼育継続中
2023	8	13	オガサワラ オオコウモリ	死亡個体 清瀬交 差点（バス停）回収	病理解剖	2023.8/13	1	死因：感電死
2023	8	14	オガサワラ オオコウモリ	死亡個体 清瀬交 差点（バス停）回収	病理解剖	2023.8/18	1	死因：感電死
2023	8	14	オナガ ミズナギドリ	奥村グラウンド うずくまり	安楽殺	2023.8.18	1	2023.8/18 安楽殺
2023	8	17	アナドリ	二見湾 漂流	安楽殺	2023.8.18	1	2023.8/18 安楽殺
2023	8	25	ムナグロ	死亡個体 回収場所不明	病理解剖	2023.8.29	1	死因：両足骨折
2023	8	30	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢ハウス 入り込み	洗浄・消毒、皮下点滴	2023.8/30	1	2023.9/9 野生復帰
2023	9	17	アカガシラ カラスバト	奥村グラウンド 道沿いうずくまり	血液検査、レントゲン検 査、皮下点滴・注射、 外用薬	2023.9/18~24	7	2023.9/24 多摩動物 公園に搬送
2023	9	27	アカガシラ カラスバト	死亡個体 高校グラウンドで 回収	レントゲン検査、病理解剖	2023.9/27	1	死因：斃死
2023	10	11	ヒシクイ	母島前浜河口 衰弱→死亡	診療のみ	2023.10/11	1	死因：斃死
2023	10	17	アナドリ	扇浦 うずくまり →死亡	レントゲン検査	2023.10/17	1	死因：斃死

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2023	10	17	アナドリ	高校グラウンド 壁面衝突	レントゲン検査	2023.10/17	1	202310/19 野生復帰
2023	10	17	シロハラ ミズナギドリ	高校グラウンド 壁面衝突	レントゲン検査	2023.10/17	1	2023.10/19 野生復帰
2023	10	22	アナドリ	はは丸岸壁 不時着→死亡	レントゲン検査	2023.10/23	1	2023.10/26 死亡 死因: 斃死
2023	10	22	アカガシラ カラスバト	死亡個体 奥村グラウンドで 回収(交通事故)	病理解剖	2023.10/27	1	死因: 斃死
2023	10	26	オガサワラ オオコウモリ	扇浦結の道 衰弱→死亡	皮下点滴、病理解剖	2023.10/26	2	死因: 斃死
2023	10	28	アカガシラ カラスバト	西町 建物奥でうずくまり	レントゲン検査、皮下点 滴・注射、外用薬	2023.10/29~ 12/14	22	202312/14 野生復帰
2023	10	30	オガサワラ オオコウモリ	旭平 低木ぶら下がり	洗浄・消毒、皮下点滴・ 注射、外用薬、MRSA 検 査	2023.10/30~ 11/5	7	2023.11/12 野生復帰
2023	11	17	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢ハウス 入り込み 9頭	経口補液	2023.11/17	計9	2023.11/24 野生復帰
2023	11	23	アカガシラ カラスバト	死亡個体 大根山道路で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/12	1	死因: 斃死
2023	11	29	アカガシラ カラスバト	死亡個体 湾岸道路で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/13	1	死因: 斃死
2023	12	2	アカガシラ カラスバト	死亡個体 咸臨丸墓地で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/15	1	死因: 斃死
2023	12	18	アカガシラ カラスバト	死亡個体 西町建物前で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/27	1	死因: 斃死
2022	-	-	オガサワラ カワラヒワ	域外繁殖用 飼育個体#6	糞便検査、爪切り、内服 薬	2023.12/18~ 1/10	7	飼育継続中
2024	1	22	アカガシラ カラスバト	死亡個体 奥村建物前で回収 (バードストライク)	病理解剖	2024.1/22	1	死因: 斃死
2024	2	21	アカガシラ カラスバト	死亡個体 扇浦建物前で回収 (バードストライク)	病理解剖	2024.2/21	1	死因: 斃死